

# 新屋鹿鳴祭保存会第15回総会

## 議案書

### 次 第

1. 開会のあいさつ
2. 会長のあいさつ
3. 議長選出
4. 報告
  - (1) 令和6年度事業報告
  - (2) 令和6年度収支決算報告
  - (3) 令和6年度会計監査報告
5. 議事
  - (1) 令和7年度事業方針（案）
  - (2) 令和7年度予算（案）
  - (3) 役員改選
  - (4) その他
6. 閉会のあいさつ
- 7.



日時 令和7年 7月11日（金）18時

場所 西部サービスセンター3階6. 7室

## 4 報告 (1) 令和6年度事業報告

### ア、役員体制

会長 富田 漣 (十條団地)  
副会長 狩野 紀男 (大川町)  
副会長 岡田 徳美 (沖田町)  
副会長 今野 正人 (下表町)  
総務部長 藤枝 隆博 (大川町)  
会計 高橋 伸 (上表町) 広報部  
監事 小野 良治 (愛宕町)  
監事 阿部 民樹 (関町後)  
理事 佐々木孝紀 (栗田支援学校)  
理事 木内 聰一 (高美町)  
理事 高橋 眞人 (大川町)  
理事 松永 正典 (沖田町)  
理事 大塚 正一 (緑町)  
理事 石黒 博美 (駅前町)  
理事 横山 誠治 (愛宕町)  
理事 佐藤 清隆 (南団地)  
理事 高橋 伸 (上表町)  
理事 弁谷 博英 (田尻沢)  
理事 高橋 大和 (関町)  
理事 進藤 洋一 (市営住宅)  
理事 辻 直文 (日の出町)  
理事 伊藤 武司 (中表町)  
理事 菊池 清隆 (十條団地)  
理事 君川 誠一 (南新町)  
理事 赤沼 侃 (下表町)  
理事 佐藤 寛 (北新町)  
理事 富野 嘉彦 (関町後)  
理事 佐藤 雅洋 (比内町)  
理事 森川 博貴 (笛町)

※ 令和7年度、町内会長等の変更に伴う交代は、役員改選で確認します。

### イ、活動報告

令和6年

5月11日 (日) 鹿嶋祭全町打合せ会議 (当番町: 田尻沢町)

・「鹿嶋船大集合イベント」「鹿嶋船美大生製作協力隊」のお知らせ

5月22日 8水) 「鹿嶋船大集合イベント」打ち合わせ会議 (新屋ガラス工房)

新屋鹿嶋祭保存会、新屋ガラス工房、大森山動物園、栗田支援学校

6月 8日 (日) 令和6年度「新屋の鹿嶋祭」

- ・「鹿嶋船大集合イベント」(栗田支援学校振舞コーナー、大森山移動動物園)  
参加町内会（14町内会）  
十條団地団地、下表町、南新町、上表町、大川町、関町後、北新町、愛宕町、駅前町、緑町、中表町、笹町、日の出町、関町
  - ・「鹿嶋船美大生製作協力隊」（10町内会）  
十條団地団地、下表町、南新町、田尻沢町、上表町、大川町、沖田町、比内町、関町後（美大生派遣要員不足で不可）

6月30日（日） 令和6年度新屋鹿嶋祭保存会第14回総会

10月 3日 (木) 第12回理事会

- ・協議案件 ウエスター祭り、機関誌「鹿嶋さん」発行にむけて  
部会の再編成にむけて、会員拡大・募集の取組

10月12日(土)～13日(日) ウエスターまつり「新屋の鹿嶋祭」展示

11月 5日 (火) 「鹿嶋さん」編集会議

令和 7 年

1月24日(金) 秋田公立美術大学複合芸術会議シンポジウム「人形道祖神と鹿島行事」  
～保存会から高橋伸さんがパネリストとして出演。

- ・令和7年3月20日： 鹿嶋さんニュース11号 発行  
(新屋全戸配布、公的機関への配布など)

## ウ、 広報部 活動報告

- ・4月7日(日) : 部会開催／ポスター打合せ
  - ・4月21日(日) : 部会開催／ポスター検証
  - ・4月28日(日) : 部会開催／ポスター検証／チラシ打合せ
  - ・4月30日(火) : / ポスター入稿
  - ・5月5日(日) : 部会開催 / チラシ検証



- ・5月7日(火) : ポスター・チラシ入稿
  - ・5月11日(土) : 全町打合会前のポスター・チラシ仕分け会

## 報告（2）令和6年度収支決算報告

## 令和6年度 新屋鹿嶋祭保存会 決算報告

(令和6年4月1日～令和7年3月31日)

## 《収入》

(単位:円)

項目	予算額	決算額	比較増減	備考
繰越金	477,308	477,308	0	
負担金	63,000	63,000	0	
会費	50,000	38,000	-12,000	
寄付金	0	0	0	
雑収入	10	3,542	3,532	懇親会残金と利息
収入計	590,318	581,850	-8,468	

## 《支出》

(単位:円)

項目	予算額	決算額	比較増減	備考
会議費	10,000	8,600	-1,400	鹿嶋祭打ち合わせ会 負担金など
事務費	40,000	12,976	-27,024	切手・葉書等
部会活動費	90,000	91,573	1,573	鹿嶋さんニュース1 1号 印刷代など
予備費	450,318	0	-450,318	
支出計	590,318	113,149	-477,169	

(単位:円)

収入計	581,850
支出計	113,149
次年度繰越金	468,701

新屋鹿嶋祭保存会  
会計 高橋 伸

秋銀預金	468,442
ゆうちょ銀行預金	259
現金残金	0
	468,701

## 報告

### (3) 令和6年度会計監査報告

<p>会計監査報告書</p> <p>令和7年5月15日</p> <p>新屋鹿嶋祭保存会 会長 富田 淳 殿</p> <p>令和6年度 新屋鹿嶋祭保存会 会計決算について、下記の通り監査の結果を報告致します。</p> <p>記</p> <p>関係諸帳簿及び預金通帳等証拠書類について監査の結果、いずれも適正に処理されていることを認めます。</p> <p>新屋鹿嶋祭保存会 会計監事 小野 良治 会計監事 術部 民樹</p> <p>以上</p>
--

## 5. 議事

### (1) 令和7年度事業方針（案）

新屋鹿嶋祭保存会は、平成23年11月の設立以来、地域に伝わる伝統行事「新屋の鹿嶋祭」の保存と継承を目的に活動を続けてまいりました。会則に基づき、5部会（事業・調査研究・製作・実技・広報）を中心に取り組みを進め、平成28年3月には秋田市無形民俗文化財の指定を受けました。文化財指定以降、記録集の作成、模範的な鹿嶋船の展示、唄と太鼓のCD制作、美大生との連携によるポスター・チラシの作成など多彩な活動を行ってきました。祭り当日には「鹿嶋船大集合」イベントを開催し、地域住民や学校、支援団体との交流も積極的に図ってまいりました。コロナ禍により、過去3年間にわたり祭りの中止が続き、保存会活動も停滞を余儀なくされました。また、文化財指定からの時間経過に伴い、活動内容や体制の見直し、次世代への伝統継承が求められています。

## ▽令和7年度 活動計画

・4月～5月 広報部会開催 ポスター・チラシの発行(実施済み)

5月11日（日） 鹿嶋祭全町打合せ会議(実施済み)

5月15日（木） 「鹿嶋船大集合イベント」打ち合わせ会議(実施済み)

6月 8日（日） 令和7年度「新屋の鹿嶋祭」(実施済み)

7月11日（金） 令和7年度新屋鹿嶋祭保存会第15回総会

10月 第13回理事会

10月11日（土）～12日（日） ウェスターまつり「新屋の鹿嶋祭」展示

11月 「鹿嶋さん」編集会議

## 後継者育成と若者の参加促進

少子高齢化により、祭りを支える担い手が不足しており、子どもや若者が参加しやすい環境づくりが急務です。学校との連携や地域体験プログラム、児童館・大学との協働による活動を進めます。

## 伝統技術の継承と記録化

鹿嶋人形や鹿嶋船製作の技術を次世代に継承するため、製作工程のビデオ記録、マニュアル化、段階的な指導カリキュラムの導入、指導者の育成プログラムを整備します。また、秋田公立美術大学との連携をはかりながら、地域の経験者及び若手の製作協力・指導も実施していきます。

## 地域との連携強化

新屋の鹿嶋祭は20町内会および栗田支援学校による共同開催であり、地域全体での協力体制が不可欠です。最近では少子化によって町内会合同参加も見受けられますが、近隣町内会同士の連携を深め、地元会社・商店会・学校教育機関との協力も視野に入れ、地域づくりと一体となった運営を目指します。

## 広報活動と観光資源としての活用

近年の広報活動に欠かせないのがSNSやWeb、ホームページなどの映像配信です。さらに、「鹿嶋さん」ニュースの発行やポスター、チラシ、パンフレットを活用して鹿嶋祭の魅力を広く発信します。秋田市外からの来訪者を増やすための広報展開、展示・紹介の場づくりなど、観光資源化に取り組みます。

## 祭りの現代化と開かれた運営

伝統を守りながら、時代に即した柔軟な運営も検討します。環境配慮や多様な参加を促す工夫を取り入れ、祭りの体験コーナーなどの参加呼びかけなど、誰もが関わりやすい鹿嶋祭を目指します。

## 部会の再編と体制強化

これまで、会則に基づいて、事業部（事業計画立案と企画実施の中核）、調査研究部（歴史・文献調査、技術伝承記録化）、製作部（鹿嶋船・人形・搭載物の製作、模範作成）、実技部（唄・お囃子の指導、音源保存）、広報部（情報発信、ポスター・映像作成、展示企画）、そして、総務・会計では、会務全般、会計処理、会員管理の統括に、それぞれ各部において役割を分担し、適材適所の人員配置を進めてきましたが、これからの中の保存会の活動に即した部会の再編成を図っていきます。

## 新規会員の加入促進と情報共有

かつての保存会会員の死亡や高齢化により年々会員は減少する傾向が続いています。保存会の安定運営には新たな人材確保が不可欠です。町内会長の交代に伴う理事変更の把握と、新世代への働きかけを通じて会員拡大を目指します。保存会の理念・活動内容の共有、入会案内の周知を図ります。

## むすびに

「新屋の鹿嶋祭」は地域の宝であり、文化財としての価値と魅力を多くの人と共有することが、からの保存会の使命です。後継者の育成、技術の継承、地域との連携強化、広報の充実を柱に、時代の変化にも柔軟に対応しながら、未来へつなぐ取り組みを本年度も着実に推進してまいります。

今後とも、会員各位及び参加町内会の保存会活動へのご理解とご協力をお願いします。

(2) 令和7年度予算(案)

令和7年度 新屋鹿嶋祭保存会 予算(案)

(令和7年4月1日～令和8年3月31日)

前期繰越金	468,701 円
収入総額	113,010 円
支出総額	581,711 円

《収入》

(単位:円)

項目	予算額	前年実績	比較増減	備考
繰越金	468,701	468,701	0	
負担金	63,000	63,000	0	
会費	50,000	38,000	12,000	
寄付金	0	0	0	
雑収入	10	3,542	-3,532	利子等
合計	581,711	581,850	-139	

《支出》

(単位:円)

項目	予算額	前年実績	比較増減	備考
会議費	10,000	8,600	1,400	総会費、理事会等
事務費	40,000	12,976	27,024	印刷、通信等
部会活動費	120,000	91,573	28,427	ウェスター祭等
予備費	411,711	0	411,711	
合計	581,711	113,149	468,562	

\* 懇親会費は、独立会計となっています。

新屋鹿嶋祭保存会  
会計 高橋 伸

(3) 役員改選について (変更があればお知らせ下さい。)

会長 富田 淳 (十條団地)

副会長 狩野 紀男 (大川町)

副会長 岡田 徳美 (沖田町)

副会長 今野 正人 (下表町)

総務部長 藤枝 隆博 (大川町)

会計 高橋 伸 (上表町)

監事 小野 良治 (愛宕町)

監事 阿部 民樹 (関町後)

理事 佐々木孝紀 (栗田支援学校)

理事 木内 聰一 (高美町)

理事 高橋 真人 (大川町) 佐藤 弘幸 (新)

理事 松永 正典 (沖田町)

理事 大塚 正一 (緑町) 武藤 祐浩 (新)

理事 石黒 博美 (駅前町)

理 事 横山 誠治 (愛宕町)  
理 事 佐藤 清隆 (南団地) 佐藤 英臣  
理 事 高橋 伸 (上表町)  
理 事 弁谷 博英 (田尻沢)  
理 事 高橋 大和 (関町) 小松 義美(新)  
理 事 進藤 洋一 (市営住宅)  
理 事 辻 直文 (日の出町)  
理 事 伊藤 武司 (中表町) 石黒 剛二(新)  
理 事 菊池 清隆 (十條団地)  
理 事 君川 誠一 (南新町) 渡辺 覚 (新)  
理 事 赤沼 侃 (下表町) 今野 正人 (新)  
理 事 佐藤 寛 (北新町)  
理 事 富野 嘉彦 (関町後)  
理 事 佐藤 雅洋 (比内町)  
理 事 森川 博貴 (笹町)

(4) その他